

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	53	文化体験プログラム事業の展開					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	02	個性ある地域文化づくり					
施策	01	地域文化活動の活性化					
<b>事業内容</b>							
目的	様々な文化、芸術に触れる機会をつくることで、区民の文化・芸術に対する理解と関心を深めます。						
対象・手段	区内在住演奏家、区内文化芸術団体等のネットワーク化を図り、団体との協働による区民参画・創造型事業を推進します。						
<b>成果(事業が意図する成果)</b>							
気軽に様々な文化、芸術に触れる機会をつくることにより、区民の自主的な文化・芸術活動を活発にすることで、地域文化を活性化します。							
<b>事業成果指標</b>							
指標名		定義			目標水準		
文化体験プログラム参加団体数		文化体験プログラムの実施主体となる団体数			(平成19年度) 10参加団体の水準達成		
応募率		実定員に対する応募者数の割合			(平成19年度) 100%の水準達成		
					( )年度に ( )の水準達成		
<b>成果の達成状況</b>							
		単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考
事業成果指標	目標値1	団体	0.00	0.00	10.00	10.00	
	実績1	団体	0.00	0.00	10.00	9.00	
	= /	%	0.00	0.00	100.00	90.00	
	目標値2	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
	実績2	%	0.00	0.00	101.00	124.00	
	= /	%	0.00	0.00	101.00	124.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業の実施内容</b>							
平成17年度	染色、ミュージカル、日本舞踊など10種類の文化体験プログラムを実施しました。 参加実績(10種類計) 募集人数: 620名 応募人数: 627名 参加人数: 487名						
平成18年度	日本舞踊、オーケストラ、和楽器、茶道、ダンスなどの文化体験プログラムを実施しました。 参加実績(9種類計) 募集人数: 460名 応募人数: 569名 参加人数: 372名						

部名称		地域文化部		課名称		文化国際課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	4,115	参加費（保険料等）については、事業者に直接支払う仕組みになっています。 17年度は国の補助金を受け、実行委員会形式で実施しました。18年度は区単独で実施しました。
	人件費	千円	0	0	6,670	6,624	
	事務費	千円	0	0	15	15	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	0	0	6,685	10,754	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	0	0	6,685	10,754	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	6,685	10,754	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.80	0.80	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業に関する検討課題</b>							
<p>主に小中学生を対象（一部プログラムは幼児、高校生も対象）として実施してきましたが、今後は成人向けプログラムの実施など、対象者の範囲を広げていく必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	17年度には得られた国の補助金がなくなりましたが、利用者アンケートを踏まえて、満足度の高いプログラムを9種実施しました。				
	効率性	3	プログラムの満足度を高めるためには、実績ある専門家や適切な会場を手配する必要があります。新宿文化・国際交流財団や日本芸能実演家団体協議会等と連携することで、優れた講師やプログラムに適した会場を短期間で手配できました。				
	実施の成果	2	参加率が約81%と高く、多くの区民に文化芸術の体験をしてもらえました。また、プログラム終了後のアンケートで、高い満足度を得られたことが確認できました。これらは、低廉かつ気軽に文化芸術体験ができる機会を提供したことによる成果と言えます。				
	行政の関与	3	低廉かつ気軽に様々な文化・芸術を経験できる機会を提供することは民間では難しく、このような機会を提供する事業を実施することは、区の責務であると言えます。				
	妥当性	3	民間では採算性や集客性等の問題から実現しにくいプログラムを実施することや、民間より低廉で気軽に文化芸術体験できる機会を提供していくことは、区民が文化芸術体験を経験する機会を増やすための方法として妥当であると言えます。				
	施策寄与度	3	文化の薫るまちづくりの実現には、区民の自主的な文化・芸術活動が不可欠です。低廉かつ気軽に文化・芸術体験ができる機会を提供することは、その自主的な活動を促進するもので、施策目的達成に大いに寄与していると言えます。				
総合評価	多くの区民の参加が得られ、利用者アンケートでも好評を得ることができました。このことから、低廉かつ気軽に、多様な文化芸術体験ができる機会を提供することができたと言えます。また、（社）日本芸能実演家団体協議会等の地域文化団体等と協働したことで、事業を効果的・効率的に実施できました。						B 過年度評価
							17年度 B 16年度 15年度 14年度
改革方針							方向性
	平成18年度は、主に小中学生を対象（一部プログラムは幼児、高校生も対象）としましたが、区民の文化・芸術活動を活性化するため、対象の範囲を一般にも広げて実施していきます。 参加者にアンケートを実施しており、この結果を次年度以降の事業に活かして、プログラムの参加率、満足度をさらに高めていきます。						4  拡大